



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 102

令和7年9月5日

今月のキーワード

下野市英語指導者研修会、しもつけイングリッシュサマーキャンプ

令和7年度 第1回下野市英語指導者研修会

8月22日(金)に、「令和7年度 第1回下野市英語指導者研修会」を開催しました。宇都宮大学教職大学院 田村 岳充先生を講師にお迎えし、研修を行いました。「英語の学びを
楽しみ確かな力を育む下野の英語授業づくり—小中の接続を重視し、教科書を生かして—」
についてご講話をいただきました。

★小中接続のポイント①★

「小学校・義務教育学校6年生の終わり、
中学校3年生・義務教育学校9年生の終わ
りにこんなことができるようになってい
ればよい」という共通のゴールがあれば、土
台を同じくした授業作りを行うことができ
ます。CAN-DO リストを活用し、小中で
ゴールを共有することが大切です。

★小中接続のポイント② 単元構想を大切にしよう！★

単元の学びのストーリー

- ①ゴールとなる単元末の言語活動
目的・場面・状況
どんなことができるようになれば？
- ②①で必要となる表現への慣れ親しみ
何度も触れ、何度も使い、自分のも
のにしていく
- ③題材・話題との出会い
自分事、必要感などが実感できる

単元末の
言語活動

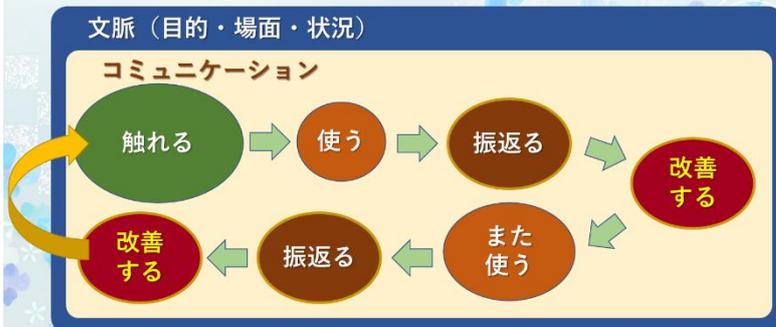
必要な表現に
触れる、使う

題材と出会い
意味を実感

逆向き設計
(バックワードデザイン)

★小中接続のポイント③ 学び方のイメージを共有しよう！★

- ・英語で考えてみると…
- ーコミュニケーションの中で触れ、使ってみて慣れ、立ち止
まって気付いたことを基にして改善し、また使ってみて…



・「触れる」：教師がモデルを示すことが
大切です。

・「使う」：児童生徒が、実際に英語を使
います。上手く使えない状況を児童生徒
に体験させることも大切です。

・「振り返る」「改善する」：児童生徒は、
立ち止まって改善策を考えたり、再構築
したりします。

※学習プロセスの中に、意味のある繰り
返しを取り入れることがポイントです。

※参考：田村 岳充先生講話資料



夏休み前に行った授業では、子どもたちは楽しみながら学んでいましたか。子
どもたちの視点に立って、授業を振り返ってみてください。これからも、チーム
下野で授業改善を進めてください。先生方自身も授業改善を楽しんでください。

Shimotsuke English Summer Camp



8月2日（土）に、南河内公民館において、「しもつけイングリッシュサマーキャンプ」を開催しました。市内小学校・義務教育学校4～6年生の児童29名が参加し、市内に勤務しているALTと一緒に英語での交流を楽しみました。前半のワールドツアーでは、グループごとに5つのブースを回り、各国の特色ある活動を体験しました。後半のワールドマーケットでは、ALTと英語でやり取りしながら買い物活動を楽しみました。活動の様子を紹介します。

★ワールドツアーで、各国の特色ある活動を体験しました！★

フィリピン



ブラジル



アメリカ



アメリカ



フィリピン



★ALTとのフリートークにも挑戦しました！★



★ワールドマーケットで、買い物活動を楽しみました！★



★参加者の皆さんの感想★

- ・初めて参加しましたが、他の学校の人たちと仲良く活動することができて楽しかったです。
- ・ALTの先生と一緒に話すことが楽しかったです。いろいろな国の体験やワールドマーケットが楽しかったので、また参加したいです。

